

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-13 観光施設整備事業 □支 援 部 門										
主管課	観光商工課					関連課					
分野名	観光										
目標 (目標値)	施設面での充実を図ることにより、観光客が安全で快適に観光ができるようにする。										
人口等の データ	データ区分	24年度			23年度			22年度			備 考
	人 口	177,224人			177,204人			177,161人			・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	79,669世帯			79,217世帯			78,812世帯			
	事業の対象者数	19,743,182人			18,110,868人			19,486,481人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	12,945			23,376			76,841			
	(国・県)	3,861			6,235			10,612			
	(負担金等)										
	(一般財源)	9,084			17,141			66,229			
	人員配置数	1.4人			1.4人			1.45人			
	人 件 費(千円)	11,515			12,775			13,987			
	協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	24,460			36,151			90,828			
	市民1人当 りの経費(円)	138			204			513			
	対象者1人 当りの経費(円)	1			2			5			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉					
	観光客数	42,432,204	15,153,934	19,438,000	49,555,000	19,743,182					
	宿泊者数	5,335,688	420,345	4,631,951	13,100,000	319,263					
	宿泊率	12.6%	2.8%	23.8%	26.4%	1.6%					
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)				
公衆トイレの大規模改修済箇所 数	○	目標値	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	1ヶ所	3ヶ所	1ヶ所	1ヶ所					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
観光施設整備事業	12,945千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■ A □ B □ C □ D □ E		
	事業の概要	既存の観光案内板等の維持管理を行った。公衆トイレの修繕を行い、快適で安全なトイレの提供を行った。ハイキングコースの清掃及び安全管理を行った。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	観光客が集中する地域に公衆トイレを整備するには、財源や用地確保に問題があることから、トイレ協力店制度を実施していく必要がある。公衆トイレは、老朽化が進んでいるものから順次計画的に改修または修繕を進めているが、洋式化やユニバーサルデザイン化を早急に進める必要がある。ハイキングコースの危険箇所について、安全確保のための整備が必要である。		
課題解決のための取組	荏柄天神社公衆トイレの修繕を行った。 観光客にトイレを提供するトイレ協力店制度の検討を行った。 後期実施計画で公衆トイレの改修、ハイキングコースの安全対策整備工事の実施を位置づけた。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	観光客が集中する地域に公衆トイレを整備するには、財源や用地確保に問題があることから、トイレ協力店制度を実施していく。ハイキングコースは、落石や倒木など、危険箇所の把握と整備を実施する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		外国人観光客の増加が見込まれる中、老朽化が進んでいる公衆トイレについて、早期に改修を実施していく。ハイキングコースの落石や倒木など、危険箇所の整備を適宜行い、安全対策を図る。	課長等名
		③有効性 ○			課長(代理)
		④公平性 ○			齋藤和徳

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
観光施設整備事業	主な個別事業	390 公衆トイレ等維持修繕料	8,046	7,753	○	○	○	○
		390 公衆トイレし尿処理手数料	1,323	1,322	○	○	○	○
		390 観光案内板作成委託料	79	71	○	○	○	○
		392 公衆トイレ改築工事設計業務委託料	2,321	1,155	○	○	○	○
		392 協働型トイレ清掃委託料	219	0	○	○	○	○
		390 ハイキングコース清掃・特別清掃委託料	1,032	1,008	○	○	○	○
		390 由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃等委託料	315	310	○	○	○	○
		390 大船駅東口公衆トイレ消毒業務委託料	0	63	○	○	○	○
		390 由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料	1,071	1,071	○	○	○	○
		390 ハイキングコースパトロール事業負担金	180	180	○	○	○	○
		392 協働型トイレ事業負担金	480	0	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							